

Hello! FUJISEI

No.42

自分や家族が要介護状態になった
 ときのためにどのような準備をした
 らいいのでしょうか？

内閣府の「平成22年度 介護保険
 制度に関する世論調査」から介護に
 対する意識についてみてみま
 しょう。

自分自身が、老後に寝たきり
 や認知症になり介護が必要と
 なった場合、どのようなことに
 困ると思うかでは、「家族に肉
 体的・精神的負担をかけること」
 を挙げた者の割合が最も高く、
 以下、「介護に要する経済的負担
 が大きいこと」「収入がなくな
 ること」と経済的な不安が続ま
 ず。前回の調査と比べると、上
 位の3項目はいずれも割合が上
 昇しています。

性別に見ると、「家族に肉
 体的・精神的負担」「介護に要する
 経済的負担」は女性で、「収入が
 なくなること」は男性で、それ
 ぞれ高くなっています。

年齢別では、「家族に肉体的・
 精神的負担」「介護に要する経済
 的負担」は30歳代から50歳代で、
 「収入がなくなること」は20歳
 代から40歳代で、それぞれ高
 くなっています。

また、仮に家族が老後に寝た

避けては通れない？介護への備え

肉体的・精神的負担 に加え経済的不安も

きりや認知症になり介護が必要に
 なった場合に困ると思う点や、現在、
 寝たきりや認知症の家族がいる人が
 困っている点では、「食事や排泄、
 入浴など世話の負担が重く、十分な
 睡眠が取れないなど肉体的負担が大

きいこと」と「ストレスや精神的負
 担が大きいこと」がそれぞれ6割超
 と高く、以下、「家を留守にできな
 い、自由に行動できないこと」「介
 護に要する経済的負担が大きいこ
 と」などの順となっています。

自分自身に介護が必要となった場合に困る点

内閣府「平成22年度 介護保険制度に関する世論調査」

